

虐殺現場



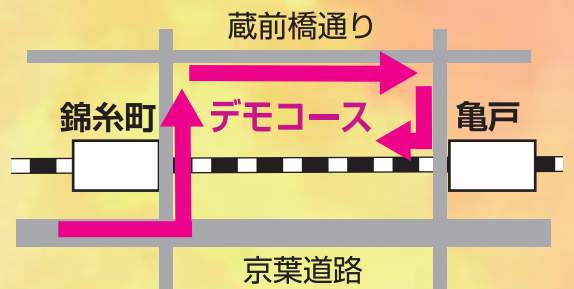
関東大震災
朝鮮人・中国人
虐殺100年

戦争と
植民地支配が
引き起こした虐殺

9・1 反戦デモ

錦糸町→亀戸

二度とくり返さないために
戦争を絶対とめる！



●100年前の1923年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災時に、政府が戒厳令を公し。「朝鮮人が井戸に毒を入れた」「朝鮮人が襲ってくる」などのデマが流され、軍隊、警察、民間の自警団によって、約6千人の朝鮮人、800人の中国人が日本刀や竹槍、棍棒などで虐殺されました。日本がアジアを侵略し、台湾を50年、朝鮮を36年間植民地支配する中で、朝鮮・台湾民衆の決起や国内の労働者との結合を恐れた日本の権力者が、差別と憎悪を煽って、多くの民衆までが自警団として手を染めてしまった虐殺事件でした。

●いままた岸田政権が、ウクライナへの参戦と対中国戦争に突進しています。軍事費を2倍化し、中国まで届くミサイル1000発の導入を狙い、沖縄・南西諸島に次々とミサイル基地がつくられています。そのもとで極悪の入管法改悪をはじめ、外国人への差別と迫害を強めています。

ウクライナ戦争・対中国戦争やめろ

●中国・朝鮮への敵意を煽って、一握りの利権屋たちのための戦争に私たちを引きずり込もうとする政府。二度と絶対に虐殺も戦争もくり返さないために、労働者の国際連帯で戦争をとめよう。戦争の張本人岸田政権を倒す反戦デモに起とう。

9月1日(金)

18:00~

錦糸町南口で
リレートーク

19:00

丸井ビル前から
デモ出発



■改憲・戦争阻止！ 大行進 東部
■改憲・戦争阻止！ 大行進 東京

連絡先：葛飾区新小岩 2-8-8-203 TEL 03-6231-4881
Email kaikensositoubu@yahoo.co.jp →



政府と小池知事の隠蔽が 戦争と殺戮をくり返す

●日清・日露の戦争以来、第二次大戦まで、日本はアジアへの侵略戦争をくり返し、台湾と朝鮮を植民地化し、その中で引き起こした朝鮮人・中国人虐殺事件の証拠を消し去り、事実を隠蔽して居直ってきました。その結果、次には「南京大虐殺」をはじめ**2000万のアジア民衆**を殺し、**300万の日本人**も命を落とす泥沼のアジア・太平洋戦争に突き進むことになりました。



●事実を隠蔽することは、ふたたびくり返すということです。**政府**がいまも日本の侵略、虐殺、強制連行、軍隊慰安婦などの戦争犯罪をなかったかのように強弁し、居直るのは**次の戦争のため**です。**小池**知事が朝鮮人・中国人虐殺の歴史を隠蔽し、かたくなに追悼式への追悼文送付を拒否し、極右ヘイト集団と結託して、追悼式そのものを破壊しようとするのも、私たちを分断・対立させ、**戦争に引きずりこむため**です。

●G7広島サミットを転換点に、ウクライナ戦争は完全にアメリカによる「**対ロシア戦争**」の場になっていきます。ウクライナ民衆とロシア兵士がどんなに死のうと、停戦どころか果てしなく激化・拡大し、世界戦争・核戦争へと向かっています。私たちは、ゼレンスキーに軍事支援するのではなく、「アメリカ・NATOもプーチンも、ウクライナから今すぐ手を引け！」と行動し、岸田政権の殺傷兵器供与や参戦に絶対反対の声を上げよう。

●また、「中国が攻めてくる」と煽りながら、実際には米日による対中国戦争が現実化しています。沖縄・南西諸島は最前線化し、自衛隊幹部は「**住民を守る余裕はない**」と言い放っています。4人に1人が亡くなった沖縄戦の再来です。あらゆる手段で戦争をとめよう！

戦争に突進する岸田政権を倒そう

麻生太郎が台湾で「戦う覚悟だ」 岸田政権の本音、絶対許すな！

●自民党副総裁・麻生太郎が、台湾を訪問して、中国を念頭に「**戦う覚悟だ**」「金をかけて防衛力を持っているだけではだめ。**いざとなったら使う**」と発言しました。麻生の発言は単なる放言ではなく、岸田政権の方針そのものです。副総裁レベルの訪台は断交以来初めて。それ自体が中国への**戦争挑発**で、一気に緊張をつくり出しています。



●そもそも、麻生一族は、戦争中に強制連行した朝鮮人労働者を筑豊の**麻生炭鉱で強制労働**させてボロ儲けをした極悪企業です。麻生は、そうしたことを反省するどころか、日本政府が朝鮮人に日本名を強制した「創氏改名」を、「**朝鮮人が望んだことだ**」とまで言い放った人物です。

●麻生は、かつて憲法改悪について「**ナチスの手口に学べ**」と発言しています。こういう連中が戦争でボロ儲けをし、そのために民衆が殺し合わされる。それが戦争です。

●50年にわたる台湾植民地支配を反省することもなく、まるで植民地総督のような態度で、「戦争やるぞ」発言をする。こんな連中が先導する**対中国戦争**（侵略戦争だ！）を絶対に許すわけにいきません。「国を守る」と言いながら、自分らは絶対に戦争に行かず、無責任に若者を戦場に駆り出す、狡猾な資本家と政府を労働者民衆の力で倒す以外ありません。